

◇保久良支部だより

●妖艶なキツネノカミソリが咲きました！

長かった梅雨が明け、一気に盛夏がやって来ました。多すぎるほどの雨を降らせた今年の梅雨でしたが、保久良の山々は十分受け入れ、多くの木々や草花を潤してくれています。保久良神社の周辺も社寺林、梅林、そしてネザサやシダ類を含め、グリーンのにじゅうたんを引き詰めた様な目に優しい背山となっています。



キツネノカミソリ



そんなグリーンの中に一際目を引くのがキツネ

ノカミソリです。狐の剃刀？・・とは何だか意味のある名のように、美しさに誘われて触ると手が切れる??・・それとも毒でも含んでいて、手が腫れる??・・などとあらぬことを考えられるでしょうが、単にこの花の葉が細長く、剃刀のように見えたことからその名が付いたとのこと。ヒガンバナ科に属し、ヒガンバナ同様、花が咲くときには葉がなく、その姿が狐に化かされたようだ！との説もあるようです。



谷道にひっそりと咲くキツネノカミソリ

只 ヒガンバナ同様、有毒植物であるのは間違いなく、口にはいけないことは確かです。8月早々から咲き始め、お盆の終わる頃花を落とします。機会があれば来年の夏、ぜひ保久良支部へお越し下さい。

因みにこの花の花言葉は「妖艶」。この花のように保久良の女子隊は皆、妖艶?? (K. K)

.....

●故 井田明義前支部長を偲んで

保久良支部 木村 絹代

～あれから三年

2017年10月1日の朝のこと、保久良神社の署名小屋についたのは朝の六時でした。

そこには、不安そうな顔をした井田支部長が、両手から血を流し、ズボンには土がついた状態で座っていました。思わず「どうしたの!」と尋ねると、「転げたんや」。手当をしてあげると、「すまんな〜」。

今日は一緒に帰りましょうと山を下りますが、足元はふらふら。その後、病院に行き入院したと娘さんから聞きびっくり。

この出来事以来、ハンコを譲り受け、署名簿に押印するのは私の仕事になりました。

御自身で何かを感じたのでしょうか。それ以降、保久良神社に上がってくることはなく、自宅を訪ねてヒヨコの資料を受け取った際も、「山はどうや」と心配そうにしていました。

2018年1月20日、病院を訪ねた際は、初めて握手を交わし、「またね」。

その3日後、娘さんから逝去されたことを聞きました。



灘の一つ火の辺りで、ラジオ体操をすることも心地好いです。故井田支部長も空のうえからご夫婦で見て下さっていることと思います。2年後の、ヒヨコ100周年にむかい、保久良支部も頑張っていきたいと思っています。

.....



正面左から4人目が前井田支部長

そうして、私は井田支部長の後を引き継ぐことになったのですが、ヒヨコ総務委員会・広報委員会・自然保護委員会とわからないことばかり。吉野会長をはじめ、諸先輩方にご指導をいただき、助けていただいたことに感謝です。

三月にはヒヨコ登山会保久良支部長として、山行きや委員会と、私にとって大役を任せられました。ヒヨコ保久良支部会員の皆様はもちろんのこと、保久良登山会の皆さんにも支えられ、早朝から温かい言葉をかけて下さり、元気をいただいています。